

助成金申請をサポート

ユニバーサルステージメンタルヘルス対策パッケージ

厚労省が12月から始める「ストレスチェック義務化」の対策として、ユニバーサルステージ(木村誠社長、東京都港区)は「メンタルヘルス対策パッケージ」を提供している。

従業員が50人以上のすべての企業に12月から義務化される「ストレスチェック」。「何をどうすればいいのか良からない」との声が聞かれるが、「従業員が希望した場合、医師や保健師などによる

ストレス度合のチェックを実施する義務」であり、このチェックによって、うつ病など表面的に認識しづらい精神的ダメージを受けている従業員を洗い出し、症状を悪化させないよう適切な治療を受けさせるきっかけとするもの。これには、チェックの実施準備やとりまとめ、担当医師とのやりとりなど細かいセキュリティを必要とする取り組みと経費が必要となるが、厚労省では「職場定着支援

助成金」など最大100万円の助成制度を設けている。

パッケージサービスを提供する木村社長は「企業内の担当者だけ決めていただければ、助成金申請に必要な手順や書類作成、ストレスチェック実施の一連の作業をすべて当社で手配するので、極力経費を抑えたうえで、担当従業員も従来の業務を遂行しながら取り組める。助成金は対象業種が限定されるが、各種運送業、倉庫運営も対象になっているのでうまく生かしてほしい」と話す。

また、同社は6月からスタートした、ブランク企業・ホワイエ企業との差別化を図る「安全衛生優良企業公表制度」の推進活動も行っている。「企業側への周知は十分では

ない。しかし、就職活動をする学生の間ではかなり浸透しているので、この認証取得企業となつて良い人材を確保していただきたい」と語る。木村社長が理事長を務める「非営利一般社団法人安全衛生優良企業マーク推進機構」では、都内で11月から12月に同制度のセミナーを企画している。(小澤 裕)

ストレスチェック



木村誠社長

また、同社は6月からスタートした、ブランク企業・ホワイエ企業との差別化を図る「安全衛生優良企業公表制度」の推進活動も行っている。「企業側への周知は十分では